

科目名・単位数		美術 III		(2)単位	学習レベル	応用
学習目標 ① 美術 I・II で学んだ平面の基礎・立体等の基礎を踏まえ、自主的に課題を計画し取り組む。 ② 創造活動にこれまでの経験を取り入れながら工夫し、応用的な作品作りを行う。 ③ 鑑賞活動を積極的に行い、芸術作品を味わいながらそれぞれの感受性を高め、自己の制作活動を深化させる。						
学期	学習内容		学習のねらい		提出物	
前期 (4月～9月)	4月	オリエンテーション 教科書学習と絵遊び	・自己紹介とこれまでの美術の流れを確認 ・教科書から見る美術の見方を学習する。 ・ことばからイメージをし絵遊びをしながら頭の柔軟体操をする。		作品	
	4月	鑑賞学習	・郷土にある文化・芸術を積極的に鑑賞し地域にある芸術活動を学ぶ。		感想用紙	
	5月	造形遊び① (陶芸による)	・土をとおして生れる造形の楽しさを味わう。限りない創造性の可能性を模索させる。		作品	
	6月	造形遊び② (陶芸による)	・土の造形加工法を踏まえ、大型作品を考案させ、見られる作品を意識させ造形の強さと作品の奥深さを学ぶ。			
	7月	造形遊び作品鑑賞会	・他人の作品を通じて新しい発見と次回の創作意欲を高める。		作品と感想文	
後期 (10月～3月)	9月	コラージュをしよう! ①コラージュの始まりは? 美術概論 ②材料を探し、イメージを膨らます。	・コラージュの意味を理解し、美術史の流れをつかむ ・材料や技法から感性を引き出す。		計画書	
	10月	③偶然のおもしろさを発見・・・	・偶然性の良さを理解し、それをコントロールする技術を学ぶ。			
	11月	④コラージュ作品鑑賞会	・自分の奥底にある新しい世界を発見する喜びを味わう。		作品と感想文	
	11月	課題研究 ①自己の研究テーマを出す。 ②材料・方法を具体化する。 ③材料収集 ④制作開始	・自己の感性を客観的に見させる。 ・イメージ力を高めさせ工夫する能力を育てさせる。 ・収集活動の中でイメージをより一層倍増させる。 ・自己の制作意欲と計画性を実現化させる。		計画書	
	2月	⑤完成作品鑑賞会	・これまでの計画の困難さの中で学んだことを重点的に考察させ過程の大切さを学ぶ。		作品と感想文	
評価の観点と方法 観点 ① 関心・意欲・態度を評価する。 ※出席状況や授業態度も含まれる。 ② 制作過程における工夫や努力を評価する。 ※自己の課題を発見し積極的に試みる ③ 鑑賞を通じて、自己の感性をいかに向上させているのかを評価する。 方法 ① 上にあげた観点を総合的に評価する。						
使用教科書・副読本	教科書 「高校美術3」日本文教出版				実習費	2,000円
教材・道具等 教科書と筆記用具等						